

## 国際化学肥料ニュース（2020年9月）

### 肥料業界の2020年9月動態

- \* インドの旺盛な肥料需要により、7～8月尿素とDAPの国際市場価格が大幅に上昇した。7月22日～8月16日の1か月未満の間にインドが4回の尿素国際入札を行い、計347万トン尿素を購入した。また、7～8月にインドが約200万トンDAPの購入を契約した。これにより、8月末の尿素国際相場が7月初めより約40～50ドル/トン高くなり、DAPも約30ドル/トン高くなった。ただし、9月以降はインドの肥料需要が下火になる見通しで、尿素とDAPの国際相場がゆっくり下がる見込みである。
- \* インド側の情報によれば、7～9月インドのDAP輸入量（契約済み量を含む）が約300万トン、前年同期の2.3倍である。

### \* 主要国の塩化加里輸入・輸出数量

国名	期間	輸入量（万トン）	輸出量（万トン）
インド	2020年8月	53	
アメリカ	2020年1～6月	597	
日本	2020年1～5月	12.1	
ブラジル	2020年1～3月	107	
カナダ	2020年1～5月		890

- \* 9月29日、インドの化学肥料省は化学肥料の生産、輸入と販売を促進するため、2020年10～12月の化学肥料販売補助金に限り、支払い総額の制限を撤廃すると発表した。今まで政府の予算により毎月の肥料販売補助金の支払い総額に上限を設定され、それを超えた金額の支払いは後に延ばされ、肥料業者の資金回収と流動性に悪影響を及ぼす。今回の時限限定措置はこの問題を解決するものである。インド財務省はすでにその費用を予算準備費から支出することを決め、議会の議決が不要となっている。
- \* 9月30日、インドRCF社が新しい尿素国際入札を発表した。10月9日締切と開札、購入量未定、11月16日まで船積という条件である。これは今年8回目の尿素入札である。

### 大手各社の営業業績

### 肥料資源の探索と肥料プラント新規建設

- \* オーストラリアの環境保護局（EPA）理事会が環境大臣に対して、Australian Potash 社の Wells 塩湖硫酸加里プロジェクトの開発を許可するよう勧告した。Wells 塩湖は西オーストラリア州にある季節性塩湖で、面積 1,895km<sup>2</sup>、鹹水に硫酸加里を豊富に含有する。Australian Potash 社は、2019 年 8 月にプロジェクトの開発に決定的実現可能性調査（DFS）の調査結果を発表した。開発が許可される場合は、速やかに年間 15 万トン硫酸加里の開発に着手することである。また、すでに三井物産及びオーストラリア、ニュージーランド、中国企業との間に開発後、生産される硫酸加里の販売に関するオフテイク契約を締結した。
  
- \* オーストラリアの Solt lake Potash 社は開発中の Lake Wei プロジェクトの状況を発表した。工事進捗率 60%を超え、計画通り 2021 年第 1 四半期に硫酸加里を初出荷する。Lake Wei は西オーストラリア州にある塩湖で、鹹水に豊富な硫酸加里を含有する。当該プロジェクトは 2560 万ドルを投資し、年間 24.5 万トン硫酸加里を生産する計画である。

#### その他

- \* 9 月 21 日、中国政府は政令を発表し、7 種類の肥料を登録許可制から届け出制に変更する。対象となる肥料種類は下記の通りである。
  1. N、P、K のうち 2 元素以上を有し、その合計含有量が 50%以上の水溶性複合肥料
  2. 中量元素 Ca、Mg10%以上を含有する水溶性肥料
  3. 微量元素だけ 10%以上を含有する水溶性肥料
  4. 農業用塩化加里苦土肥料
  5. 農業用硫酸加里苦土肥料
  6. 配合肥料
  7. BB 配合肥料